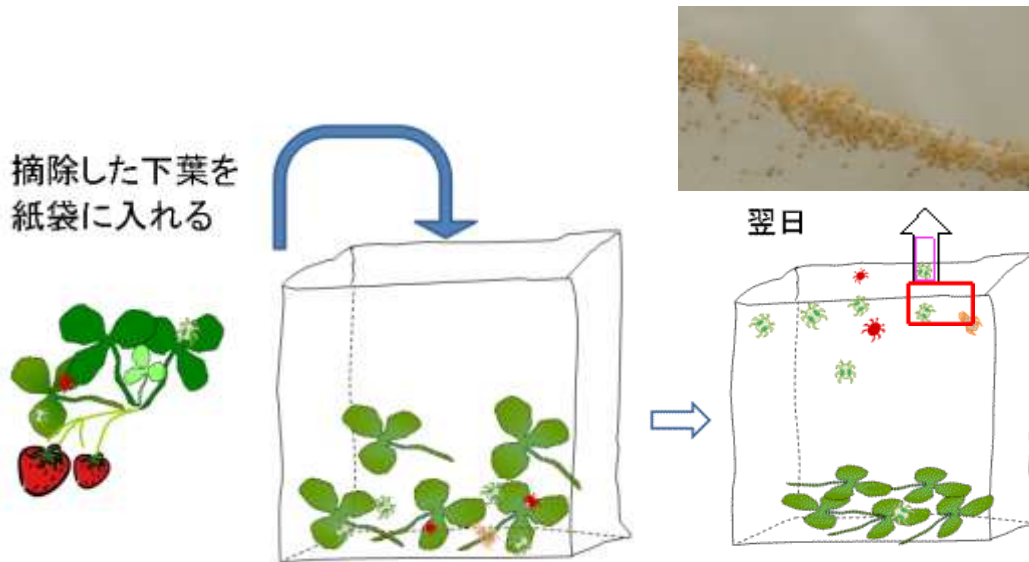


イチゴのハダニ類の発生確認および簡易薬剤検定方法

山口県病害虫防除所

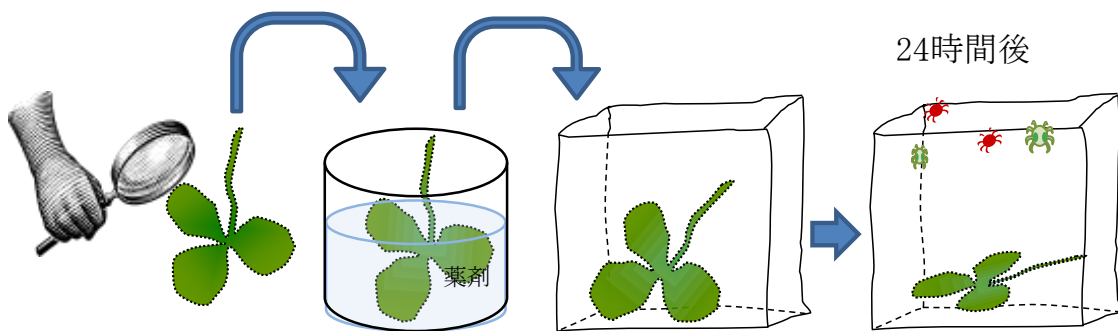
<発生確認手順>

- 1 ハダニの発生しやすい場所（暖房機周辺や出入り口付近）や白くかすり状に被害が発生している場所から下葉を10枚程度集め、白い紙袋に入れる。
- 2 葉を入れた白い紙袋を室内に立てて静置し、葉を乾燥させる。
- 3 翌日、紙袋の上部を歩行するハダニ類（成虫、若虫）を観察する。



<簡易薬剤検定手順>

- 1 ハダニの発生している葉を常用濃度の薬液に10秒間浸漬し、白い紙袋に入れる。
- 2 室内に保管し、24時間後に紙袋の上部を歩行するハダニ（成虫、若虫）を観察する。
- 3 歩行するハダニ類が多数認められる薬剤は、効果が低いと考えられるので使用を控える。



<見分けるポイント>



ナミハダニ
(黄緑色)



カンザワハダニ
(赤色)



ミヤコカブリダニ
(オレンジ色、洋なし型)
(天敵：ナミハダニを補食)



チリカブリダニ
(赤色、足が長い)
(天敵)

イチゴのナミハダニ薬剤感受性検定結果(2021年)

薬剤名	IRAC コード	倍率	補正死虫率				卵数の対無処理比			
			①平川	②清末	③徳地	④伊陸	①平川	②清末	③徳地	④伊陸
ダニサラバフロアブル	25A	1000	7.9	18.1	89.5	20.2	84.7	53.0	70.0	93.7
スターマイトフロアブル	25A	2000	19.9	20.8	21.0	45.2	40.7	63.3	81.0	82.0
ダニコングフロアブル	25B	3000	41.0	56.1	4.0	11.4	44.7	47.3	83.0	71.7
コロマイト水和剤	6	2000	80.2	0.3	-12.6	11.4	20.7	41.3	25.7	9.7
カネマイトフロアブル	20B	2000	82.8	96.0	64.6	100.0	24.0	36.7	64.0	23.0
マイトコーネフロアブル	20D	1000	100.0	77.1	100.0	100.0	36.0	51.3	65.3	24.7
グレースシア乳剤	30	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	20.7	13.7	19.7	23.0
ダニオーテフロアブル		2000	100.0	91.1	100.0	100.0	21.3	26.0	19.0	16.0

※回転散布塔を用い、リーフディスク上のハダニに薬液を処理

※処理48時間後に判定。苦悶虫は死虫としてカウント。卵は処理前に極力除去し、処理後の卵数を比較。

※卵数の対無処理比=(各処理区の卵数/無処理区の卵数)×100

※平川: 山口市平川、清末: 下関市清末、徳地: 山口市徳地伊賀地、伊陸: 柳井市伊陸

数字が大きい方が、効果が高い。

数字が小さい方が、散布後の卵増加が少ない。